

さいたま見学通信

さいたま支局のイベントや
工場・博物館の見どころ等をご紹介します



《博物館、庁舎・工場棟外観》

【造幣局は、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」認証と環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」認証を取得しています。】



《お金の歴史コーナー》



《博物館入口》



《博物館体験コーナー》

造幣局さいたま支局は、平成28（2016）年10月に、東京都豊島区からさいたま市に移転しました。

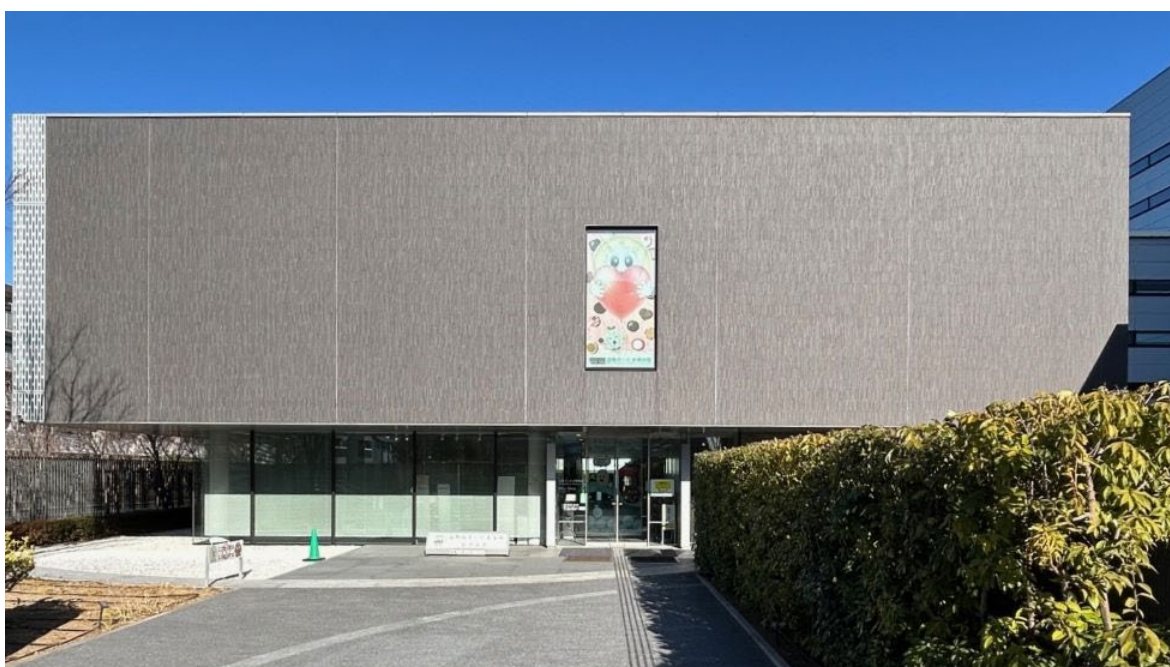
当支局では、貨幣のほか勲章の製造を行っており、その様子を、工場見学通路からご覧いただくことができます。

また、併設の博物館では、これまでに発行された記念貨幣のほか、勲章、オリンピック入賞メダル、古銭など約1,000点を展示しています。

皆様のご来局をお待ちしております。

《目次》

- ・ [期間限定コーナー、イベント案内](#) **NEW**
- ・ [工場、博物館の見どころ紹介](#) **NEW**
- ・ [トピックス](#) **NEW**
- ・ [館内ミントショップのご案内](#)
- ・ [「令和7年桜のさんぽ道」の様子](#) **NEW**
- ・ [出張講演や参加イベントについて](#)
- ・ [「造幣さいたまサクスフェア2024」の様子](#)



当博物館及び工場見学通路は、SIAA（抗菌製品技術協議会）認証の抗ウイルス抗菌コーティングを施しております。✧

<入場料無料>		月・火・木・金	土・日・祝	水	備 考
見学エリア		博物館○ 工場○	博物館○ 工場×	定休日	工場見学は 月・火・木・金のみ
自由見学	個人	予約不要	予約不要		自由にご見学いただけます
	団体	要予約	要予約		入館者数制限する場合あり
ガイドツアー		要予約	×		工場＋博物館（90分）

※団体:20 名以上

※業務の都合により見学できない場合があります。

※土日祝:博物館のみの簡易ガイドを実施。1 回 30 分程度(10:30～,14:30～)。

予告なく中止となる場合があります。

期間限定コーナー

NEW

◆造幣さいたま博物館企画展「万博に関する記念貨幣・メダル大集合！」開催中 (R7.4.5(土)～10.14(火))

造幣さいたま博物館では、EXPO2025(略称「大阪・関西万博」)の開催を記念して、これまでに日本で開催された国際博覧会(万博)にちなんで発行された記念貨幣やメダル等を一堂に集めた特別展を開催しています。



日本初の国際博覧会は、昭和 45 年(1970 年)に大阪千里丘陵で開催された日本万国博覧会(大阪万博、EXPO' 70)です。この開催を記念し、造幣局では「日本万国博覧会記念 100 円白銅貨幣」と「記念メダル(白金、金、銀、銅)」を製造しました。なかでも「日本万国博覧会記念 100 円白銅貨幣」は当初の製造枚数を超え、追加製造が行われるほどの人気を博しました。



(日本万国博覧会記 100 円白銅貨幣)

この他にも、つくばや愛知等で開催された国際博覧会にまつわる記念貨幣やメダルを展示しています。展示を通じて万博にまつわる思い出を振り返ってみるのはいかがでしょうか？
皆様のお越しをお待ちしております。

イベント案内

休館日とガイドツアー申込方法が変わりました！

ガイドツアー（工場・博物館）《予約制》

1日4回、1回当たりの見学人数を最大50名までとして実施しています。

実 施 日	月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 (祝日、年末年始を除く) ※その他、業務の都合により見学できない場合があります。
見 学 開 始 時 間	(1)9時30分 (2)10時30分 (3)13時30分 (4)14時00分
所 要 時 間	約90分（ビデオ上映、工場・博物館見学）
申 込 方 法 (予 約 制)	<一般> ○工場見学予約サイトにてお申込みください。 ※予約受付は、見学日の前月第2火曜日午前0時から、前営業日の16時までです。 ※工場見学予約サイトをご利用できない環境の方は、下記の連絡先までお電話でお問い合わせください。 Tel：048-645-5899（平日：9時～12時、13時～16時） <団体等> ○次に該当する場合は、お電話にて予約を承ります。 ①団体（20名以上） ②学校（小・中・高校） ③観光バス等でお越しのお客様 ④車イス使用者など特別な配慮が必要な方 ○連絡先 Tel：048-645-5899（平日：9時～12時、13時～16時） ※予約受付は、見学日の2か月前の同日（※同日が土日祝日及び年末年始の場合は、前営業日）から、見学日の前営業日の16時00分までです。 詳細は、ホームページでご確認ください。

《自由見学》

- 1 グループ19名以下のお客様は、予約なしで自由にご見学いただけます。
- 20名以上のグループ及び観光バスでお越しの場合は、入館者数及び駐車台数に制限がありますので事前にご予約をお願いします。

◆展示室ガイドツアー（土・日、祝日）

予約不要で、1日2回（10：30～、14：30～）スタッフが博物館展示品の説明を行います。
※所要時間約30分。予告なく中止する場合があります。

◆クイズラリー（主に平日の工場見学休止日に開催）

クイズラリーで貨幣について楽しく学びましょう！

クイズは大人用・小学生用の2種類。
博物館の中にヒントがあるよ。挑戦してみてね！



工場・博物館の見どころ紹介 NEW

自由見学でも工場見学が
できますよ！（稼働日のみ）。

《工場見学の様子》



貨幣の製造

◆プルーフ貨幣の製造工程（バレル研磨）

プルーフ貨幣という、収集用の貨幣をご存知ですか？
さいたま支局が主として製造している、特別丁寧に造られる貨幣です。
美しさの秘密は、美しい表面。こちらの研磨機で磨き上げ、鏡面のように仕上げます。



◆プルーフ貨幣の製造工程（圧印）

美しさの秘密のもうひとつは、丁寧な圧印作業。専用の圧印機で貨幣の模様を二回以上連続して圧印し、模様を鮮明に付けていきます。



高級感のある革ケースに入れたらできあがり！
その美しさを是非近くでご覧ください。

◆通常貨幣の製造工程

皆さんが普段お使いの貨幣が作られる瞬間がご覧いただけます。
作業がない日もありますが、出来立ての貨幣がジャラジャラと落ちてくるところは見ごたえがありますよ！



勲章の製造

◆匠の技

造幣局では、勲章の製造を内閣府賞勲局より請け負っています。

勲章を製造する職員の手元にご注目ください。

“匠”を目指す若手職員と「匠の技」のベテラン職員。

一心不乱に素材に向かう職人の中には「現代の名工」も。

《七宝盛付け》
七宝が入る部分に
「釉薬(ゆうやく)」を
盛り付けます。



《キサゲ作業》
やすりで仕上げた面を、人手でさらに精密に
仕上げます。



【博物館 編】



《博物館見学の様子》



《壁面ラックで貨幣セットを展示》

◆記念貨幣

これまで造幣局が製造した数々の記念貨幣を展示しています。記念貨幣に注がれた技術の進歩をお楽しみください。

また、過去には埼玉ゆかりの記念貨幣も発行されています。

是非一度ご覧になってください。



《地方自治法施行60周年記念千円銀貨幣プルーフ貨幣セット(埼玉県)》



《さいたま支局で打初め式を行った「小笠原諸島復帰 50 周年記念千円銀貨幣」》

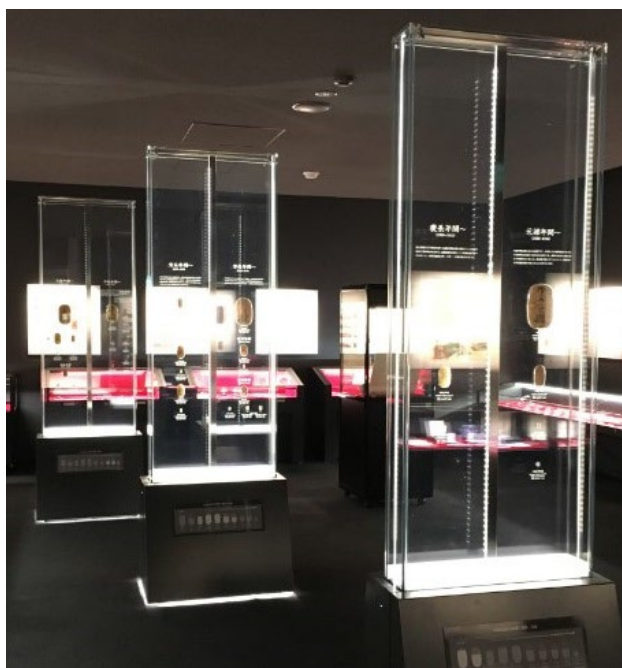
◆オリンピック入賞メダル

1964 年開催の東京オリンピックから、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会まで、日本で開催された過去大会の入賞メダルを展示しています。



◆大判小判

博物館では、大判小判の表裏が見ることができるアクリルタワーケースで展示しております。江戸時代の息吹を感じてください。時価数千万円のお宝も！？



《アクリルタワーケースによる展示》



《慶長大判》

◆幻の貨幣

昭和7年銘の金貨は、金本位制最後の金貨。
希少価値が高く、幻の金貨と呼ばれています。



《昭和7年銘20円金貨幣》

戦争末期、金属が不足していた時代に造られた陶製の貨幣。焼き物で有名な「愛知県瀬戸市」や「佐賀県有田町」などで製造されていました。発行前に終戦を迎え、流通せず粉碎処理されました。まさに幻の貨幣。



《陶貨》

◆コイン君（貨幣測定装置）



令和7年4月25日からリニューアル



お手持ちの貨幣の健康診断ができます。古くなって磨耗が進み、重量が足りなくなると、「働きすぎです」と診断されます。

ほとんどの貨幣は「健康です」という診断になりますが、古い貨幣を手に入れたら是非お試しになってみてはいかがでしょうか。（現在の流通貨幣に限ります。）

ディスプレイ画面で、造幣局のマスコットキャラクター達が貨幣の豆知識も教えてくれますよ！



◆3Dトリックアート

館内で見ると平坦な図柄ですが、ご自身のスマートフォン等で撮影すると…

不思議、不思議～！貨幣が飛び出てきます。いろんなポーズで撮影して、もっともっと楽しい写真をお楽しみください！



◆1円玉と背くらべ

1円玉の直径は2センチです。100枚（100円）で2メートルになります。

さて、あなたの身長は“なん円”かな？「1円玉と背くらべ」をしてみよう！

1円玉を100枚並べているよ。



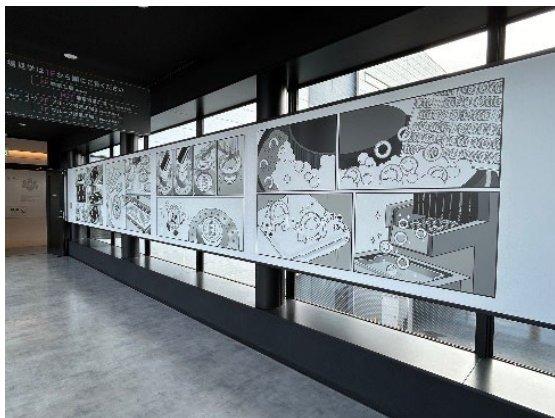
◆博物館入口でキラキラコインズがお出迎え

「来館時はまず受付にお寄りください！」のご案内を兼ねて入口でキラキラコインズと床のBIGコインくんが皆様をお出迎えしています（令和6年12月18日設置）。



◆工場・博物館連絡通路に「プルーフ貨幣セット」製造工程イラスト登場

キラキラコインズたちが工場見学に向かう皆様を賑やかにしてお出迎えしています（令和6年7月17日設置）。



◆造幣さいたま博物館ご来館 30 万人達成

令和5年5月22日（月）、来館者30万人を達成しました。30万人目の来館者は、埼玉県内からお越しのご家族で、さいたま支局長から30万人目の認定証書と記念品をお贈りしました。今後も造幣さいたま博物館は、大人も子供も楽しく学べる博物館として、スタッフ一同取り組んでまいりますので、皆様ぜひご来館ください。



◆ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を導入

令和2年1月20日から、スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」による展示品の説明（英語、中国語、韓国語）を開始。

また、令和3年3月29日から日本語の説明もご覧いただけるようになりました。

さらに、令和7年3月18日から日本語及び英語について、音声ガイドもご利用いただけるようになりました。

※展示室内は無料Wi-Fiをご利用いただけます（令和5年3月運用開始）。

※バッテリーシェアリングサービスも導入しました（令和6年2月設置）。

◆授乳室にベビーベッドを設置

赤ちゃん連れのお客様によりご利用いただきやすくなるよう、授乳室におむつ替え用のベビーベッドを設置しました（令和6年2月21日）。
埼玉県の子どもの駅としても登録しています。



◆土日祝日も観光バスや歩行が困難な方には駐車スペースを用意

平成30年12月8日より、土日祝日も観光バスや歩行が困難な方には駐車スペースをご利用いただけるようになりました（博物館開館日に限ります。）。

駐車台数に限りがありますので、事前にご相談ください。

館内ミントショップのご案内



広く造幣事業の周知宣伝を行うとともに、造幣局が製造した金属工芸品や貨幣セットの展示・販売を行うことを目的として、ミントショップを博物館内に開設しています。

ミントショップでは、貨幣セットや金属工芸品のほか、貨幣をモチーフにした手ぬぐいやトートバッグ、菓子類など造幣局に関連したミュージアムグッズも販売しています。

◆各種貨幣セット販売中！

未使用の 500 円から 1 円までの 6 貨種をケースに収納した貨幣セットを販売しています。



《令和 7 年銘ミントセット》
【販売価格：2,200 円（税込）】



《令和 7 年銘記念日貨幣セット》
【販売価格：2,600 円（税込）】

◆ミュージアムグッズに新製品登場

ミュージアムグッズにまたまた新製品が登場しました。菓子類では、昔ながらの懐かしい味“金塊しょうゆ飴”。ステーショナリーグッズでは、書類の整理や手帳のワンポイントに！環境にも優しい紙素材の”貨幣クリップ“。

お土産にどうぞ！



【販売価格：金塊しょうゆ飴(100g入り、個包装) 550 円、貨幣クリップ (1 円、5 円各 5 個入り) 650 円、貨幣グミ (10 個入り) 500 円 (いずれも税込)】

※商品は品切れの場合がございます。お問い合わせは、[こちら](#)。

令和7年桜のさんぽ道の様子

令和3年にさいたま支局開局5周年を記念して、一般開放を開始した『桜のさんぽ道』。今年では5度目の開催となりました。

4月5日(土)～18日(金)に開催した「令和7年桜のさんぽ道」は、昨年と同様、26品種107本の桜が楽しめ、例年よりも開催期間を長く開催することで、満開の桜もより長く楽しんでいただくことができました。



「蘭蘭 (ランラン)」



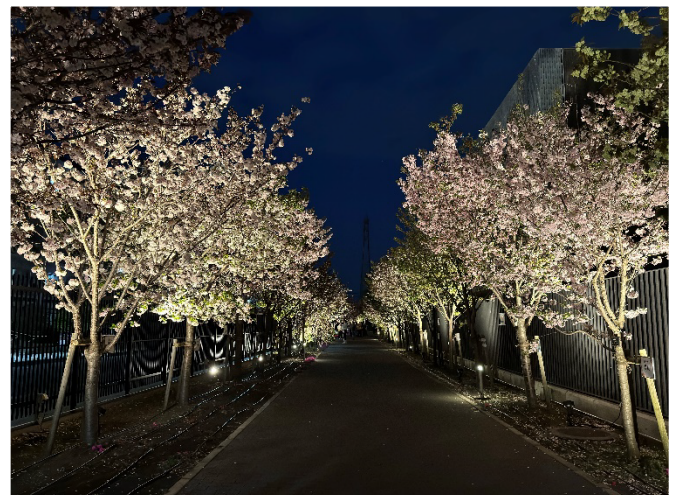
さんぽ道を楽しめる様子



「松月 (ショウゲツ)」



「鬱金 (ウコン)」



夜桜もお楽しみいただきました！

出張講演や参加イベントについて

【出張ミニ講座（白岡市生涯学習センター）】

令和7年1月23日（木）、白岡市生涯学習センターにおいて、貨幣にまつわるミニ講座を開催しました。参加者が大人の方ということで、普段の子ども向け講座の内容をボリュームアップ。貨幣の役割や貨幣のデザイン、偽造防止技術等の説明に加え、造幣局の事業についてもお話しました。翌週（1月30日（木））には工場見学にもお越しいただき、造幣事業や貨幣について、より理解を深めていただくことができました。



【こども見学デー】

令和6年8月7日（水）・8日（木）の2日間、「こども見学デー」が開催されました。これは、各府省庁等が連携して業務説明や見学などを行うことにより、親子の触れ合いを深め広く社会を知る体験活動の機会とすることを目的としています。造幣局では、さいたま支局で「ぞうへいきよく親子見学会」を開催。参加された皆さんに、貨幣にまつわるあれこれや偽造防止技術について、クイズを交えたミニ講座で学んでいただき、工場・博物館の見学ツアーをお楽しみいただきました。



【夏休み企画「大宮区ミュージアム特別展及びスタンプラリー」】

令和6年8月6日（火）から23日（金）までの期間、区内の3カ所の施設を巡りスタンプを集める「大宮区ミュージアムスタンプラリー」に参加しました。また、大宮区役所1階展示スペースにおいて、イベント参加施設を紹介するパネル展示があり、造幣さいたま博物館の案内のほか、お金の豆知識を紹介する展示を行いました。



【オンライン講座（埼玉県立けやき特別支援学校）】

令和4年5月13日（土）、埼玉県立けやき特別支援学校（埼玉県小児医療センター院内学級）からご依頼をいただき、オンライン講座を開催しました。

「コイン（貨幣）について～造幣局の事業～」と題した講座で、中学生を対象に、造幣局の事業・貨幣の種類やデザインの説明・偽造防止技術の紹介などを行い、クイズを交えて楽しく学びながら貨幣に対する理解を深めていただきました。



【出張ミニ講座（さいたま市立針ヶ谷小学校）】

令和3年10月27日（水）、さいたま市立針ヶ谷小学校からご依頼をいただき、貨幣にまつわるミニ講座を開催しました。貨幣のデザインにまつわる説明や、貨幣の偽造防止技術の紹介などをクイズを交えて楽しく学んでいただき、講座後には児童の皆さんから、たくさんの質問を受けました。

初めて取組んだ小学校へのお出張講座は、貨幣への理解を深めていただく良い機会となりました。



「造幣さいたまサクスフェア2024」の様子

令和6年10月5日（土）、6日（日）の2日間、日頃から造幣局の事業にご理解をいただいている地域の皆様に感謝の意を込めて、『造幣さいたまサクスフェア2024』を開催しました。

今回も『休日工場見学』をメインに、子供向けのミニ講座『キッズアカデミー』と体験型イベントとして『クイズラリー』を開催。2日間で2,810人の方々にご来場いただきました。



《サクスフェア限定のスペシャルな工場見学》

休日にはご覧いただけない工場を稼働し、2日間限定で普段よりパワーアップした休日工場見学を楽しんでいただきました。

<スペシャルその1> 【品位証明：打刻実演】

普段は見学できない品位証明記号（ホールマーク）の打刻実演コーナーを設けて、特別に見学していただきました。

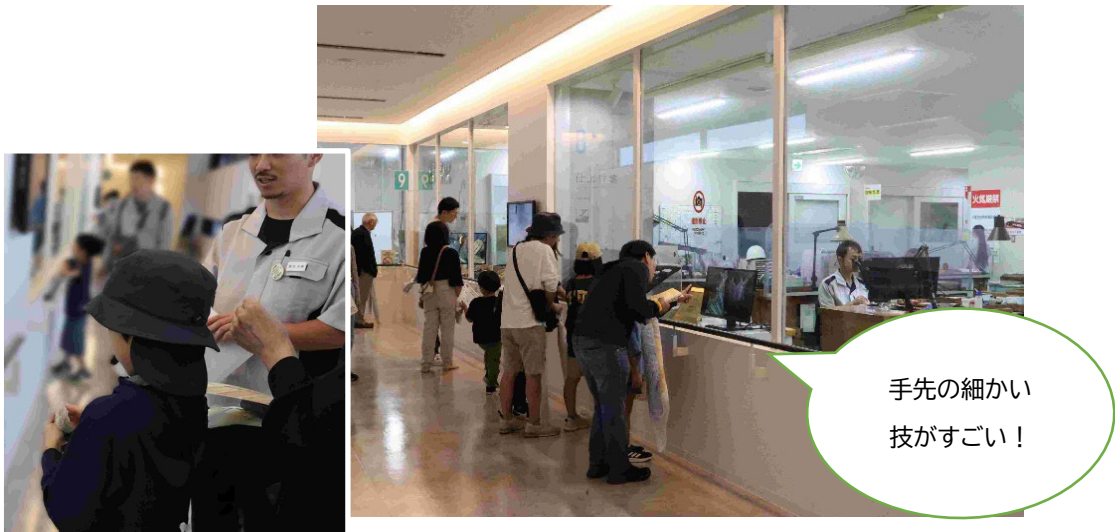
楽しい！
すごい！！



普段作業に従事している職員によるライブ実況。

<スペシャルその2> 【勲章製造工程：ライブカメラによる作業上映】

現代の名工等の卓越した技能や奥にある作業室で行われている業務を見ることができるよう、手元カメラなどで撮影して見学通路側に設置したライブカメラで上映しました。担当職員による説明もフェアだけのスペシャル！



研磨に使用している羽布（バフ）に触れる体験をしていただきました。

<スペシャルその3> 【プルーフ貨幣製造工程：カラー印刷のパッドに触れてみよう！】

記念貨幣やメダルなど、色をつける作業の際に使用する“パッド”を実際に触っていただきました。
※フェア後も、常設展示しています。



《学習型イベント》

【キッズアカデミー】

主に小学生を対象としたお金に関するミニ講座「キッズアカデミー」を開催しました。今回は、7月に新札が発行された紙幣についても学んでいただけるよう、国立印刷局とのコラボにて実施しました。お金の役割や偽造防止技術、ユニバーサルデザインなどについて、クイズを交えて楽しく分かりやすく解説しました。



お手持ちの紙幣で透かしなどの偽造防止技術を確認中



【キッズチャレンジ（クイズラリー）】

小学生以下を対象にクイズラリーを行いました。ヒントを頼りにクイズに挑戦！
工場と博物館を見学しながら楽しんでいただきました。
最後のお楽しみは、答え合わせ。

「全問正解」出るかな～？



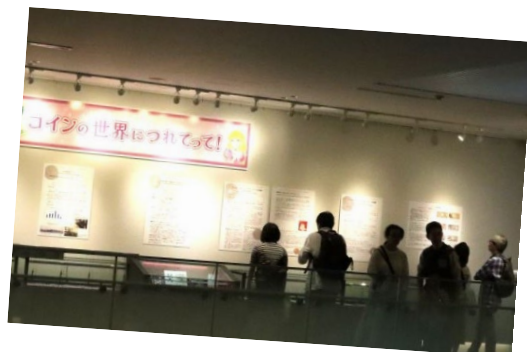
三兄弟でチャレンジ！

こたえあわせは～
つまみをくるくる…

■特別展「コインの世界につれてって！」

大阪の造幣博物館にて夏に開催した特別展を、さいたまではサンクスフェアの時期に合わせて同時開催しました。

決済手段としての役割にとどまらない、芸術品としてのコイン、お守りやおまじないに使われたコイン、あの世で使うコイン?! など、様々な目的で使われたコインやコインのトリビアなどを紹介しました。

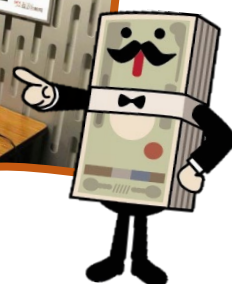


■キャラクターふれあいタイム

さいたま支局オリジナルキャラ『さくらちゃん』とお馴染み『コインくん』との記念撮影会。今回は、国立印刷局から『サツスール工場長』も駆け付けてくれました。皆さん笑顔で撮影を楽しめました。



■顔出しパネル、国立印刷局展示コーナーなど



造幣さいたまサンクスフェア 2024
ご来場ありがとうございました。